

News Release

配信元 公益財団法人東北活性化研究センター

<http://www.kasseiken.jp>

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9番10号

TEL : 022-222-3357 FAX : 022-225-0082

URL : <http://www.kasseiken.jp>

2018年10月29日

報道関係各位

**(プロジェクト支援事業) 地域活性化に関するプロジェクト支援  
「あ・ら・伊達な道の駅」における観光振興事業を活用した地域独自の  
顧客データ取得・効果検証事業に係る支援の実施について**

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)会長）では、「知をつなぎ、地を活かす」を活動理念として、東北圏（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県および新潟県）の地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクト支援等の事業を行い、同圏の活力向上と持続的な発展に寄与していくことを目指しております。

今般、「NPO 法人未来産業創造おおさき」より、弊センターのプロジェクト支援事業(※)として(件名「鳴子温泉郷における観光振興事業を活用した地域独自の顧客データ取得・効果検証事業」)の応募があったことから、弊センター内にて検討した結果、本事業に係る支援の実施を決定したものであります。

本事業は、「NPO法人未来産業創造おおさき」が中心となって、東京大学山本清龍研究室と共同で11月1日(木)および11月4日(日)の2日間にわたり、大崎市岩出山池月にある国内有数の集客力を誇る「あ・ら・伊達な道の駅」において、合計400人の利用客を対象としたアンケート調査および分析を実施するものです。さらに、アンケートの協力者に対して鳴子温泉郷にある(一社)みやぎ大崎観光公社の正規会員旅館に日帰り入浴可能なクーポンを配布し、同公社がクーポン使用の実績結果について分析すると共に、これらの結果から得た利用客データについて検証するものです。

本事業により、今後、「あ・ら・伊達な道の駅」を集客拠点とした鳴子温泉郷を含めた周辺の地域振興に寄与できるビジネスモデルの提案が期待されると共に、同地域における観光業の活性化および観光消費の拡大に資することが期待されます。

(※) プロジェクト支援事業とは、弊センターにて「地域の活性化・産業の活性化に関するプロジェクト」の具体化を支援することを目的に、東北圏内にある自治体や営利を主たる目的としない団体（観光協会、商工団体、NPO、産業関連団体等）からの要請に基づいて協力をを行うものです。(※今回は、専門家派遣費用等について、弊センターが負担いたしました。)

(添付資料) NPO 法人未来産業創造おおさきによる「あ・ら・伊達な道の駅」における観光振興事業を活用した地域独自の顧客データ取得・効果検証事業等の内容について

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人東北活性化研究センター 地域・産業振興部 安部

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9番10号

E-Mail: [m-abe@kasseiken.jp](mailto:m-abe@kasseiken.jp) TEL: 022-222-3357 FAX: 022-225-0082

# NPO法人未来産業創造おおさきによる「あ・ら・伊達な道の駅」における観光振興事業を活用した地域独自の顧客データ取得・効果検証事業等の内容について

①「あ・ら・伊達な道の駅」の利用客に対するアンケート調査および利用客データの取得検証を実施する  
 (※東北経済産業局のビッグデータを活用した商業・観光振興に係る検証事業の枠組みの一部に参画した取り組み)

11月1日(木)・11月4日(日)

11月の2日間にわたり、「あ・ら・伊達な道の駅」の全面協力のもと、「あ・ら・伊達な道の駅」に来訪した合計400人の利用客を対象に東京大学山本清龍研究室と共同で、「あ・ら・伊達な道の駅」の利用状況アンケート調査を実施すると共に、アンケートの協力者に対して鳴子温泉郷にある(一社)みやぎ大崎観光公社の正規会員旅館に日帰り入浴可能なクーポン(※12月末まで有効、紙媒体とLINE@媒体の2種類)を配布し、(一社)みやぎ大崎観光公社がクーポン使用実績の結果について分析を行う

＜あ・ら・伊達な道の駅＞  
国内有数の集客力



＜東京大学山本清龍研究室＞  
利用状況アンケート調査の実施  
(※合計400人の利用客を対象)

＜東京大学山本清龍研究室＞アンケートにより利用客の  
動線・趣向・鳴子温泉郷との連携の有意性を評価する



＜(一社)みやぎ大崎観光公社＞  
日帰り入浴可能なクーポンの配布により、  
鳴子温泉郷に送客を促す

＜(一社)みやぎ大崎観光公社＞  
顧客情報の取得と日帰り入浴  
可能なクーポンの配布(※紙媒体  
とLINE@媒体の2種類)



鳴子温泉郷周辺の  
観光情報の各種発信



④周辺地域への活用・効果

3月以降～

②集計結果の報告 ~12月末

③報告書の作成 2月末(仮)

✓ 「あ・ら・伊達な道の駅」を集客拠点とした鳴子温泉郷を含めた周辺の地域振興に寄与できるビジネスモデル提案への期待  
 ✓ 観光業の活性化および観光消費の拡大への期待

✓ 東京大学山本清龍研究室によるアンケートの分析結果  
 ✓ (一社)みやぎ大崎観光公社による利用客データの取得状況の確認およびクーポン使用実績の分析結果

＜NPO法人未来産業創造おおさき＞  
①②の内容を報告書としてまとめる